

従来型

得意技術や設備の流用等で、企業又は企業群が取組みがしやすいものを提案

使いやすいものになっていない
マッチングしない、普及しない

世界初:100%再エネスマート都市

自治体も楽しく汗をかいて収益をあげる

取組がしやすいものではなく、世界共通の住民の使いやすいものにするを、第一優先とする。

バリウスリンク会議とは、住民又は使う人の意見を最優先させた開発システムであり、必要な技術は海外からでも調達し、開発を構成する企業群には、難しいノルマを設定せず、楽しく開発できるレベルで参加する。(偶然の特許技術は大歓迎)

木更津市、千葉県、千葉大学、テーマごとの担当業者、森林組合、漁業組合、農林省、経産省、環境省...

図面及び開発プロセス(バリウスリンク会議の様様)を開示することで、普及を加速させる。

(諸技術に明るい) ビデオ製作&編集会社がバリウスリンク会議の状況をビデオ撮影し、日本語及び英語版を編集し、各15分程度にまとめ、木更津市のHPにて、会員のみ公開する。(当面G7内の企業のみ〇円を支払い会員になる。)

売り上げの3%等、木更津市及び参加企業、住民が分配。

ノルマを設定しない、自由で、明るく楽しい雰囲気での会議では、種々のアイデアが出てくるので、そのプロセスをも含め世界中に発信をしていく。(会員のみ)

リアル&リモート併用

(この3倍~5倍程度のイメージ)

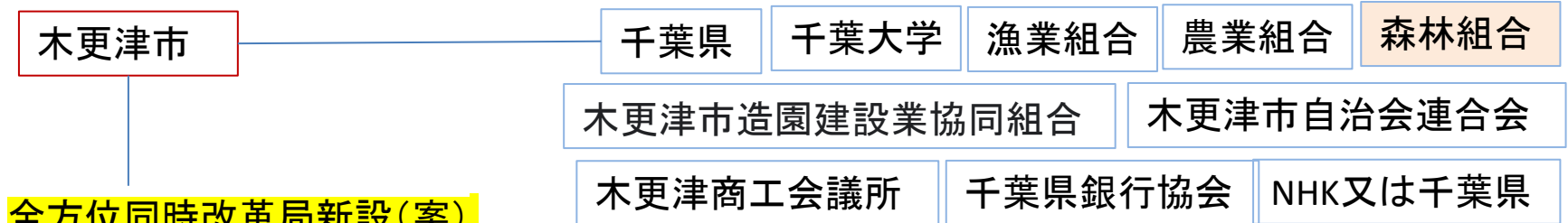
服装自由
企業代表ではなく
個人としての意見を出す
なんでも自由に発言してよい

住民又は
使う人の意見を最優先
他人を批判せず、誰もが楽しい
気持ちになるように心がける。



「木更津システム」とは、木更津市を世界初の100%再エネのスマート都市にするとともに、房総半島を首都圏の再エネの供給基地とするもので、バリウスリンク会議にて、全技術を醸成し、そのノウハウを世界中に提供し、その収益でウクライナを再エネ100%の世界最初の国にする。

バリウスリンク会議:木更津システムの組織



全方位同時改革局新設(案)

波力発電普及課

海産物農業普及課

ウクライナ復興技術課(ウクライナ人を3人以上採用する。)

「木更津システム」国内普及課(木更津S業者による施工&会員になった外部業者への指導)

「木更津システム」海外普及課(当面G7のみ対応:G7各国から一人ずつ採用)

企業群(各2社以上):シェア分担は業界内で行う

- 1 木造人工島製造業者+木材のコーティング業者
- 2 大型水車及び大型水車の軸受け並びに固定台業者
- 3 木造人工島、大型水車、ギヤボックス&発電機の設置業者
- 4 全体の電気ハード担当業者(必要な変電システム、送電線等を含む)
- 5 全体の管理(ソフトウェア)システム担当業者(海産物農業を含む)
- 6 海産物農業のハード担当業者
- 7 海産物農業システムの設置業者(スマホアプリで管理ができるようにする。)

人々の生活パターンが多様化し、複数のインフラが複雑に絡み合う現在では、一つひとつ丁寧に解決をしていく「一課題追求型」は間違っており、増額以外に解決の道がなく、「全方位同時改革」が必要であり、関連するすべての機関とのバランス取りをしながら、また将来のシナリオを描きながら、開発システムと販売システムを同時に改革していく必要がある。

<木更津市での新設局・部課案>

やりがいをもとにした「全方位同時改革局」を新設。（1-3は早急に、4-6は来年度）

1. 波力発電普及課：木更津市の再エネ100%達成のため木造人工島の波力発電の普及促進
2. 海産物農業普及課：木更津市の海産物農業及び木造人工島上の商業施設の普及促進
3. ウクライナ復興技術課（ウクライナ人3人以上）：外務省等と連携、波力発電&ツリー型の技術サポート
4. 「木更津システム」国内普及課（木更津S業者による施工&会員になった外部業者への指導）
5. 「木更津システム」海外普及課（当面G7のみ対応：G7各国から一人ずつ採用）

チャットGPTにより、人員削減が可能なので、外国人を除き、基本的には配置転換での対応がよい。

<各部門の役割>

1. 千葉県：木更津市への必要なサポート及び千葉県全体の普及促進
2. 千葉大：波力発電や海産物農業の最適システムの検討等を行う。（銀行からの貸し出し資金を使う。）
3. 千葉県銀行協会：木更津システムに必要な資金を貸し出し、利息を含めて会員から第一優先で受け取る。
4. 各組織連合会（各協会）：アンケート調査等を踏まえ、各組合の問題点や統一見解を出し使い易くする。
5. NHK：波力発電や海産物農業及び低速自動運転社会に関する報道を行い、必要なビデオ撮影を行う。

木更津システム(KS)の収益構造について、G7内のKSの導入を希望する自治体は、KS会員となり、必要な発注額に1.03倍をして予算化し、上乗せ分の3%をKSに対し支払うものとする。

(KSは図面やノウハウの提供や課題や問題点の相談を受付をし、全面的にバックアップをする。)

1%は千葉県銀行協会が受け取り、「総貸出額+利息」を各銀行が受け取り、残りは税金支払いやボーナスとして配分する。残りの2%を人工光合成の研究やウクライナ復興機器開発に投資をする。

会議で承認されたKSの活動資金は千葉県銀行協会が出すが、利息を含め、KS会員から受け取る。

「木更津県」が存在していた。



歴史的みても気候的にみても木更津市は房総エリアの代表と位置づけられている。

千葉県天気 - 日本気象協会 tenki.jp

2023年5月21日・千葉県の天気 02(金) 03(土) 04(日) 05(月) 06(火) 07(水) 08(木) 09(金) 10(土) (日) 12(月) 02日14:00発表 06月02日(金) 千葉県 24/20 80% 銚子市 23/19 80% 館山市 ...

千葉市

千葉市の今日明日の天気、気温、降水確率に加え、台風情報、警報注意報、観測 ...

勝浦市

天気図 PM2.5分布予測 地震情報 気象予報士の解説 梅雨入り・明け注目トップ ...

船橋市

天気図 PM2.5分布予測 地震情報 気象予報士の解説 梅雨入り・明け注目トップ ...

浦安市

天気図 PM2.5分布予測 地震情報 気象予報士の解説 梅雨入り・明け注目トップ ...

市原市

天気図 PM2.5分布予測 地震情報 気象予報士の解説 梅雨入り・明け注目トップ ...

木更津市 25 24 20

天気図 PM2.5分布予測 地震情報 気象予報士の解説 梅雨入り・明け注目トップ ...

成田市

天気図 PM2.5分布予測 地震情報 気象予報士の解説 梅雨入り・明け注目トップ ...

栄町

天気図 PM2.5分布予測 地震情報 気象予報士の解説 梅雨入り・明け注目トップ ...

房総半島では木更津市以外の都市名がない
= 木更津市が房総代表
木更津システムでは技術を持っている会社を集めるシステムなので、納期が早い

木更津エリアで超大規模な波力発電と海産物農業(+有機農業の拡大)を行い、東京都の再エネ70%以上 & 食料30%以上の供給基地とする。目標2026年秋とする。(3年間で達成する。)

空中鉄道

土地の買収がないので、3年間(2026年秋)で運行可能と考えています。

空中鉄道とは、ワイヤーから給電し、またワイヤーを命綱とする、世界で最も安全で、コストパフォーマンスがよい乗り物だが、低空を飛行をするので騒音が半端ないため、海岸沿いを限られた時間帯にて運行する。

成田-房総全周-木更津-東京のルートとし、木更津-東京間は、複数の木造人工島上に鉄塔をたてワイヤーを張るが、途中船の運行のためにワイヤーレスとし、そこでは海上を3mで飛行し、万が一落下しても、ダメージは最小で、客室は木製の二十構造なので、海に浮く。

https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_6b17a727fba34c75bb2a2f1f34870604.pdf

埼玉県・栃木県・茨木県の再エネ100%と食糧自給率大幅UPの為に、木造人工島の波力発電及び海産物農業を銚子半島付近で展開する。

漁業・海水浴・潮干狩り・商船&観光船ルート、そして景観ポイントを大切にし、進める。

首都圏の再エネ100%と食糧自給率大幅UPには、木造人工島の波力発電及び海産物農業を房総半島(木更津)と三浦半島とで展開し、大きく貢献する。

山梨県は主に駿河湾から、群馬県・長野県は主に日本海側から供給(70%)を受け、河川にプールを設定しての水流発電(30%)を展開する。



バリウスリンク会議による開発スケジュール案

基本的に2023年7月(下期)から数年間、毎週月曜日(あるいは別の日)の午後に木更津市様の用意した会議室にて、バリウスリンク会議を行う。

ノルマを課さず、また進捗状況が芳しくない時は休める(担当分野の審議を次回にまわす)ような、自由な雰囲気、地域住民の暮らしさを最優先の内容にしたいと考えています。

「年間スケジュール概要」

6月:千葉県森林組合様との打ち合わせ

7月~:バリウスリンク会議を開始する。(木更津市、千葉県森林組合、千葉大学、千葉県)
:将来の輸出産業を考慮し担当メーカーの公募を行う。(EU諸国を含める。)

- 1 木造人工島製造業者+木材のコーティング業者
- 2 大型水車及び大型水車の軸受け並びに固定台業者
- 3 木造人工島、大型水車、ギヤボックス&発電機の設置業者
- 4 全体の電気ハード担当業者(必要な変電システム、送電線等を含む)
- 5 全体の管理(ソフトウェア)システム担当業者(海産物農業を含む)
- 6 海産物農業のハード担当業者
- 7 海産物農業システムの設置業者(スマホアプリで管理ができるようにする。)

8月~:上記1~7の業者を決定し、さらに波力発電運営会社と海産物農業の養殖業者(複数可)の公募を行い、決定し次第、バリウスリンク会議に参加をしていただく。

木造人工島の海洋都市(リゾートホテル、海産物販売街等)や、河川の総合開発での再エネ拡大、市民のたまり場、低速自動運転車社会の構築等の話があれば同時に進めていく。

9月～トライアル発注(*)に対応した、各メーカーは12月末を目標に製品及び工具設計を行い、その進捗状況や課題(問題点)に関して、報告していただき、総合的な最適解を議論しながら、100%再エネ都市構築の準備及び遂行を行う。(木更津市、千葉県、千葉大学、テーマごとの担当業者(7業者x各2名=14名)、森林組合、漁業組合、国交省、経産省、環境省、チーフ広田が参加:国交省・経産省・環境省はテーマにより、必要に応じ参加する。)

COP28での報告は、環境省(未定)が行う方向で調整する。
(ウクライナ戦争への影響も大きい。ロシアの化石燃料販売益の将来見込みがない)

24年1月:トライアル発注の生産開始

24年3月:トライアル発注の設置完了

24年4月:トライアル運用～

24年5月:本発注:100%再エネ化の準備開始

次の展開として、内容未定ながら、全自動木材加工工場を木更津市内に設置する。(各種原木や腐りかけた廃材を投入しても、使える部分のみを使い、必要に応じ、インローを設定しての接着後に加工する等、木材を全く無駄にしない。)

<トライアル発注に関して>

将来の拡販での利益を考慮し、各メーカーは無償で行い、また各メーカーは国や千葉県に対し、独自に補助金申請等を行う。(トライアル発注での木更津市の費用負担はなし。)

<本設置の費用>

本設置の費用は、化石燃料購入負担減で、ほぼ相殺されると考えています。(電気料金は、従来の1/10程度と想定しています。)